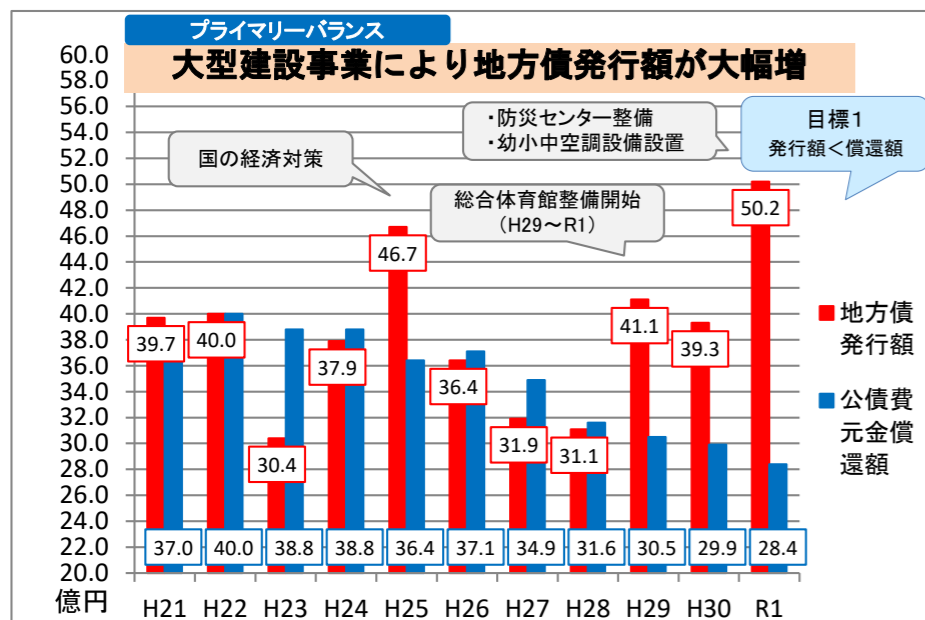


各種財政指標等の推移【令和元年度決算】

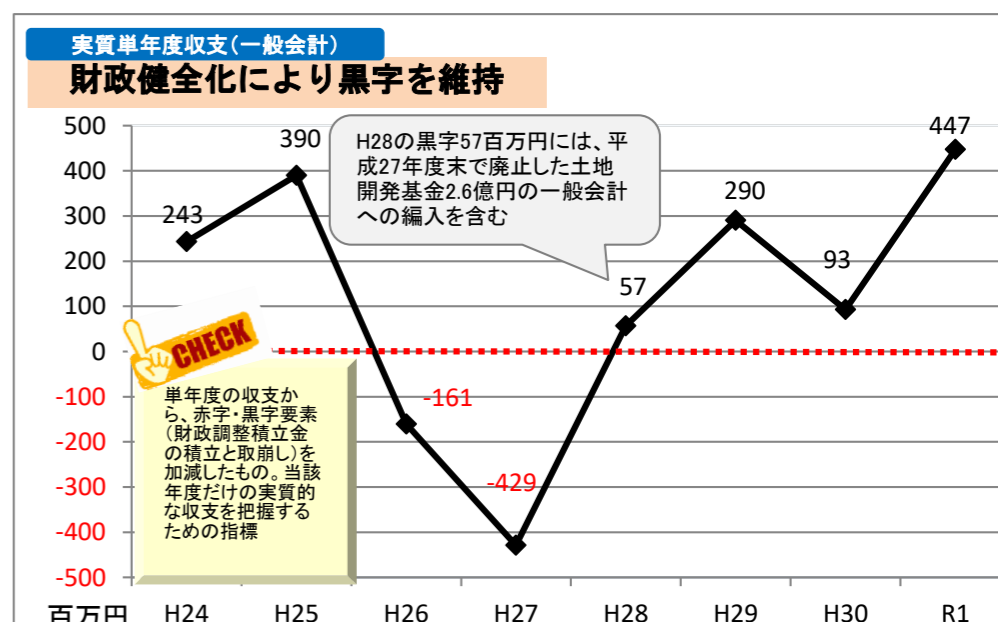
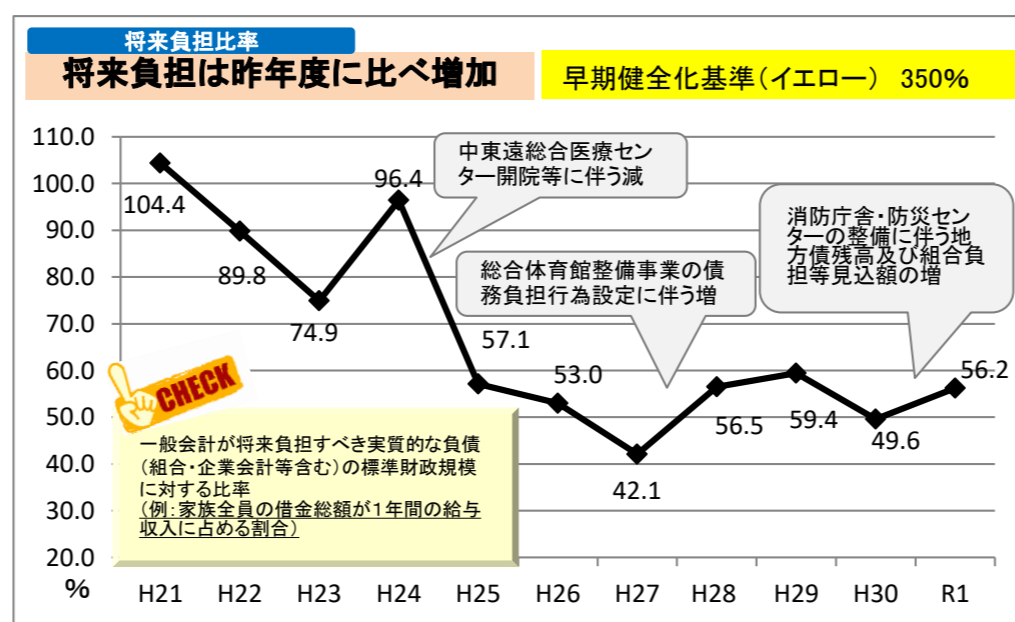
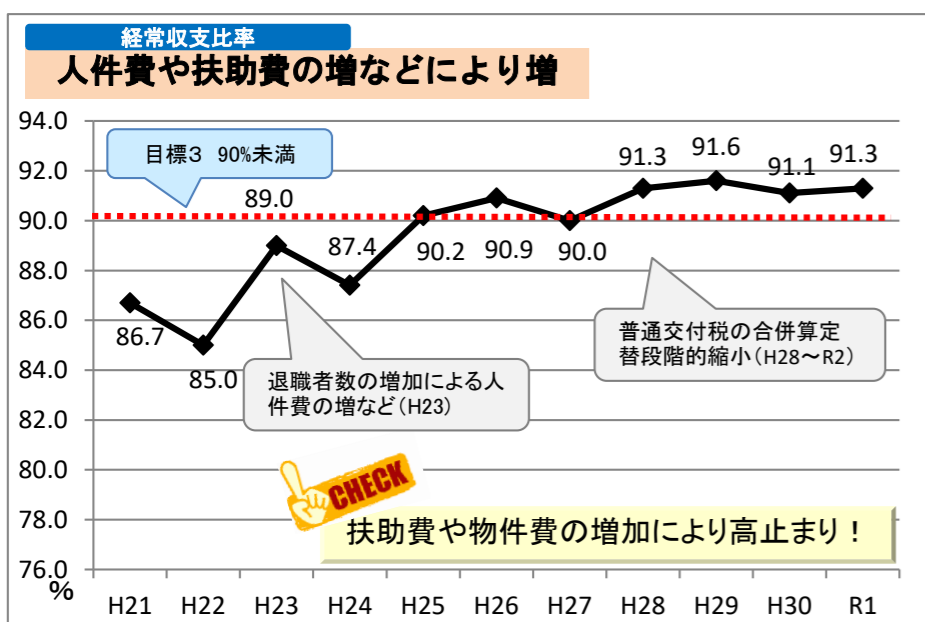
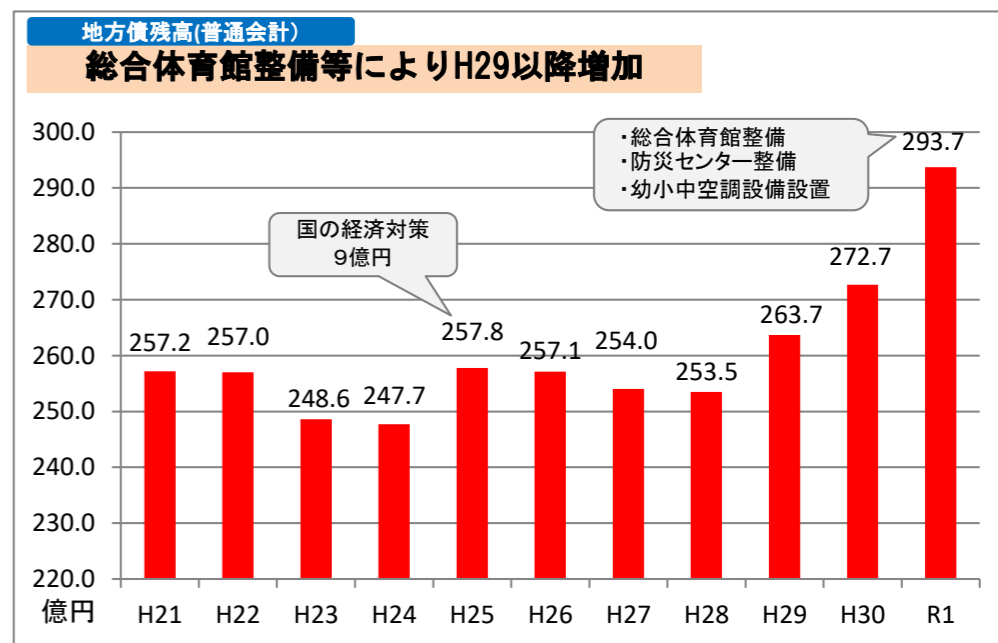
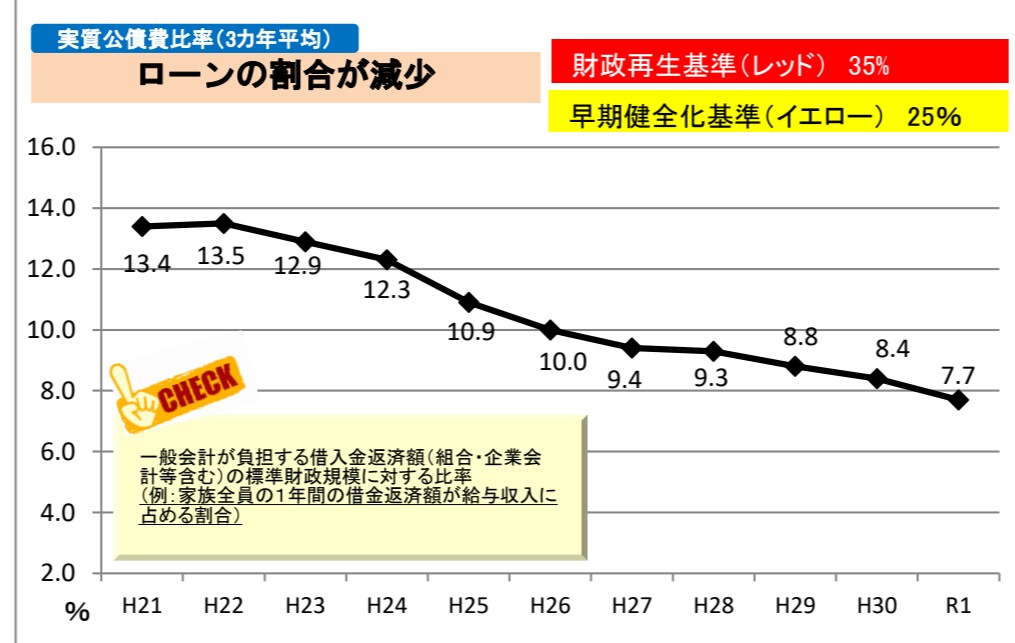
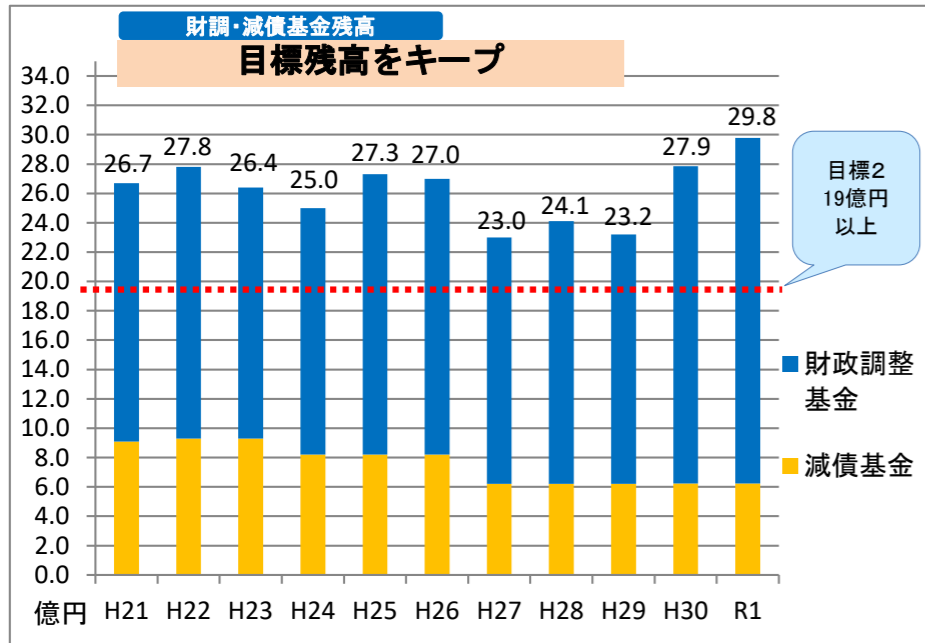
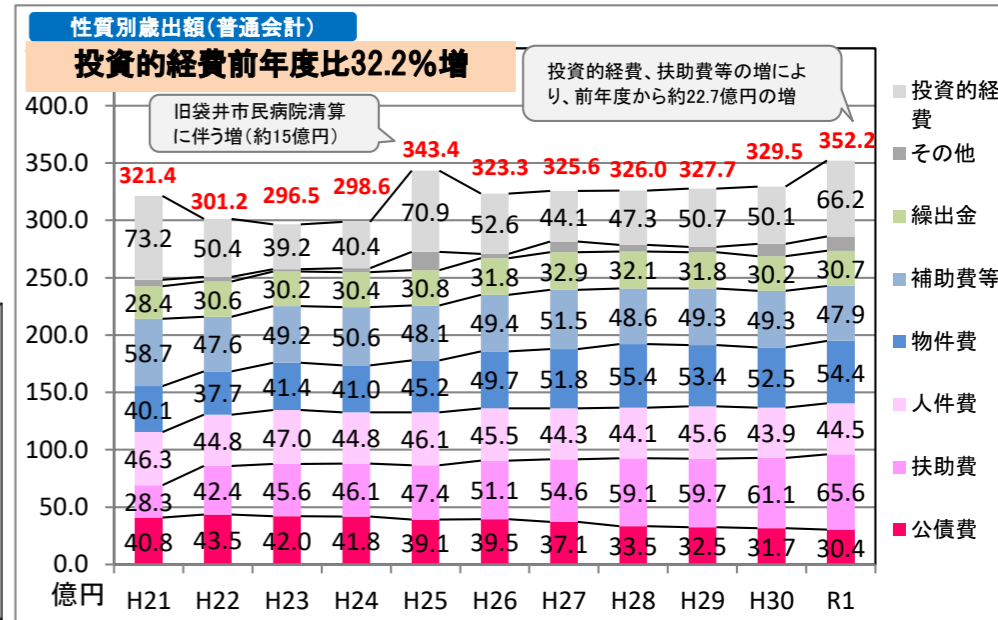


健全財政確保のための目標

- 目標1 地方債発行額については、各年度の元金償還額以下とする。
- 目標2 基金残高(財政調整基金・減債基金)は、19億円以上とする。
- 目標3 経常収支比率は90%未満とする。

<R1決算の特徴点>

- 地方債発行額について、総合体育館や防災センターの整備、幼小中空調設備設置など、大型建設事業の増加により、元金償還額を大きく上回るようになった。
- 財政調整基金と減債基金の残高について、財政健全化の取組などにより、1.9億円を積立し、目標残高(19億円以上)を維持している。
- 経常収支比率について、職員給与や時間外勤務手当などの人件費の増加や、生活保護費や障害者(児)自立支援給付費などの扶助費の増加により、経常的な歳出が増加したため、対前年比0.2ポイント増となった。



※普通会計・・・「一般会計」と「公営事業会計(国民健康保険特別会計、公共下水道事業会計など)を除く特別会計」を合算したもので、袋井市では、H27年度までは土地取得特別会計、H27年度以降は墓地事業特別会計が該当する。